



「世界で初めて」の発見を、世界に発信する。

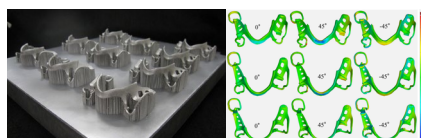
大学院で得たのは、学位だけではなく——挑戦し、未来を掴み取る力。

大学院への進学で広がった選択肢 —挑戦し、未来を掴み取る—

歯学部入学時より「視野が広く国際的に活躍できる歯科医師」を目標にしています。大学院への進学は、目標とする歯科医師像に近づくために、「挑戦し、未来を掴み取る」チャンスを与えてくれました。

大学院在学中は臨床・教育・研究の3本柱を基本に日々充実した日々を送るとともに、「金属積層造形で製作した局部床義歯フレームワークの造形角度の違いが形状精度に及ぼす影響」についての研究を行い、学位論文のテーマとしました。

大学院3年次には、ドイツ・ハイデルベルク大学に研究留学し、同大学の共同研究者らとともに「中空構造を有するジルコニア人工歯の形状精度と破壊抵抗性」に関する研究を進め、現在も共同研究を継続し国際学会での研究成果の発表や国際誌への論文投稿により積極的に世界への発信を続けています。



大学院卒業後は、パーシャルデンチャー補綴学講座の専任教員として日々臨床・教育・研究の3本柱を大切に職務に従事するとともに、今まで私自身が多くの人に支えられてきたように、今後は後進の育成にも力を入れていきたいと考えています。このように、大学院入学時に想像していたよりも目標とする歯科医師像に大きく近づくことが出来ました。大学院で得られた「挑戦し、選択肢を広げ、未来を掴み取る」姿勢を忘れずに、歯科医師として今後も成長し続けたいと考えています。

学生へのメッセージ

大学院への進学というと、「まだ勉強しなきゃいけないの？」と思う学生さんも多いと思います。それ、正解です。ただし、医学は日々進歩し続けるため、大学院に進学せずとも歯科医師は一生勉強し続けなければなりません。

どうせ勉強するならワクワクしながら勉強したくないですか？大学院では、学部時代に皆さんが教わってきた先生方でも分からないことを解明していくことになります。つまり、世界中の誰も知らないことをあなたが世界で初めて発見し、それを世界に発信していくのです。

大学院で得られるのは決して「学位」だけでなく、それ以上に挑戦し自分自身の未来の選択肢を広げる経験・能力を得られる貴重な機会です。若ければ若いほどその挑戦から得られた能力を活用できる期間が増えます。あなたの挑戦が想像もしなかったような未来に繋がっているかもしれません。



経歴

2019年3月	東京歯科大学	卒業
2020年3月	東京歯科大学水道橋病院	臨床研修歯科医プログラムA 修了
2020年4月	東京歯科大学大学院歯学研究科	入学
2022年7月～2023年3月	ドイツ・ハイデルベルク大学附属病院補綴科	留学
2023年3月	東京歯科大学大学院歯学研究科	修了
2023年4月	東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座	助教
2026年4月	東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座	講師 現在に至る